

令和6年度 第5回鳥取大学経営協議会 議事要旨

日 時 令和6年11月27日(水) 13:32 ~ 15:06
会議方法 対面会議(オンライン併用(Google Meet))
会 場 事務局棟3階 第1会議室
出席者 (学外) 占部, 小林, 中島, 林田, 平井, 松本, 宮崎, 吉岡, 渡辺の各委員
(学内) 中島, 河田, 原田, 山口, 三木, 藪田, 武中の各委員
内田監事, 足立監事
陪席者 岡田副学長, 安延副学長, 川村副学長, 香川副学長, 坂口工学部長,
明石農学部長

<陪席者の紹介>

議事に先立ち, 議長より, 本年9月1日付けで監事として, 再任された
足立 珠希 氏の紹介が行われた。

議事要旨の承認

前回(令和6年9月19日開催)の議事要旨を承認した。

議 題

1. 令和6年度第1次学内補正予算(案)

資料1に基づき, 補正予算案の概要及び執行計画案(実施事業概要)について
説明があり, 審議の結果承認した。

2. 令和6年人事院勧告対応について

資料2に基づき, 令和6年人事院勧告に対する本学の対応について説明があ
り, 審議の結果承認した

— 委員からの主な発言と本学の対応 —

◇委員より, 退職者の補充時期延長において設置基準などに必要な教員は確保
されるのか質問があり, 設置基準など大学運営に支障をきたす重要な配置は
優先的に対応する旨説明があった。

◇委員より, 人事院勧告に対応する大学予算の今後の見通しについて質問があ
り, 第4期中期目標期間中は一律の人件費が予算措置されているが, 国立大学
協会が声明により国に働きかけているほか, 外部資金獲得の推進と学長裁量
経費の削減による対応を検討している旨説明があった。

◇委員より, 今回の審議案で人事院勧告の対応は可能なのか質問があり, 臨時国
会での補正予算の動向も注視しながら, 財務状況に応じた対応を検討してい

る旨説明があった。

◇限られた予算の中で、増加する人件費を捻出するためには、業務効率化や物件費の削減など大きな変革が必要ではないかとの意見があった。

報 告

1. 白浜（二）宿舎の廃止について

資料3に基づき、白浜（二）宿舎（鳥取地区職員宿舎）の使用最終期限を令和9年5月末とすることについて報告があった。

2. 令和6年度資金運用（第2回及び第3回）

資料4に基づき、令和6年度資金運用（第2回及び第3回）について報告があった。

討 議

1. 鳥取県内就職希望者への支援について

資料5-1・5-2に基づき、本学における学生の就職状況等のデータ提示及び鳥取県内就職者数増加に資する取組について説明があり、説明後、各委員との意見交換が行われた。

— 委員からの主な発言と本学の対応 —

◇委員から、鳥取県内就職者が増加することは、地方創生の大きな力となるので今後も取組を継続してほしいとの意見があった。

◇委員から、鳥取県内就職への推進が強すぎると学生が敬遠してしまうのではないかとの意見があり、本学の取組は学生自ら参加しているもので、広く地元へ貢献したいと考える人材育成を行っており、最終的に就職先として鳥取を選択する学生が増えることを期待して取り組んでいる旨説明があった。

◇委員から、鳥取県出身者は県内就職率が高いというデータから県内高校の進学率を増やす必要があり、魅力の一つとして県内就職先への大学推薦枠などあればよいのではないかとの意見があり、以前は理系学部を中心に大学推薦枠による就職も一定数行われていたが、近年の人手不足による影響で複数の内定の中から選択できる環境であるため、大学推薦枠による就職制度が崩れてきている旨の説明があった。

◇委員から、鳥取にある国立大学として、地域の魅力を学生に理解させる機会を設けていることは、大変重要なことであり、今後も継続して取り組んでいただきたいとの意見があった。

その他

資料6に基づき、最近の本学の主なトピックスについて説明があった。

資料7に基づき、令和6年度第6回を1月29日開催予定である旨説明があった。